

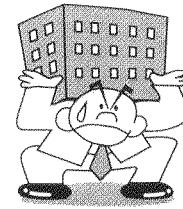
商工会議所組織体制～

組織に改編

★変化に対応できる組織に改編

経済社会が大きく変化する中で、環境変化に対する商工会議所がより機敏に対応していくことが、会員・市民から強く求められるようになりました。そのような折、経営効率の向上と競争力の強化を達成して、会員や市民からの信頼を得られる「機動的な商工会議所」の実現に向けて組織・事業構造の抜本的な見直しに取り組んできました。特に今回の組織再編では、迅速な意思決定と果敢な行動ができる商工会議所「生き残る（サバイバル/Survival）ための3つのS、「速さ／Speed、強さ／Strong、簡明さ／Simple」」の実現を目指して、組織のスリム化を進めるとともに、会員の代表としての議員の英知と行動力が十分に發揮される体制の構築に努めました。商工会議所の活力は、部会活動が活発か否かによって大きく左右されるとも言われます。部会は、会員の意志を商工会議所に対して直接発表する場であり、事業に参

平成14年度事業方針



★3つの柱★

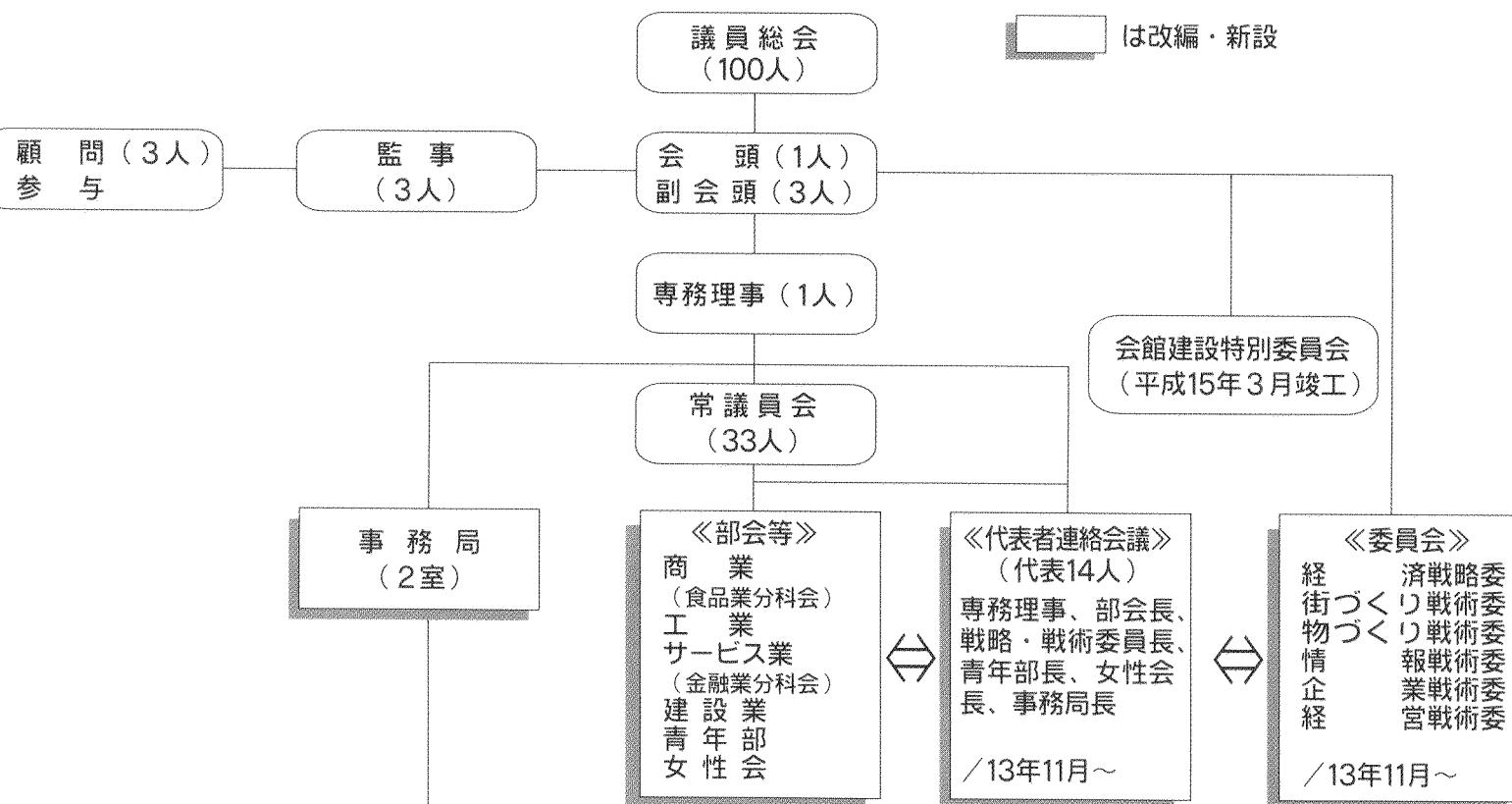
- ①会員・市民の活動拠点創出
- ②国・県事業の執行で活力創出
- ③産学官民協働により産業が息づく街の創出

主要7項目

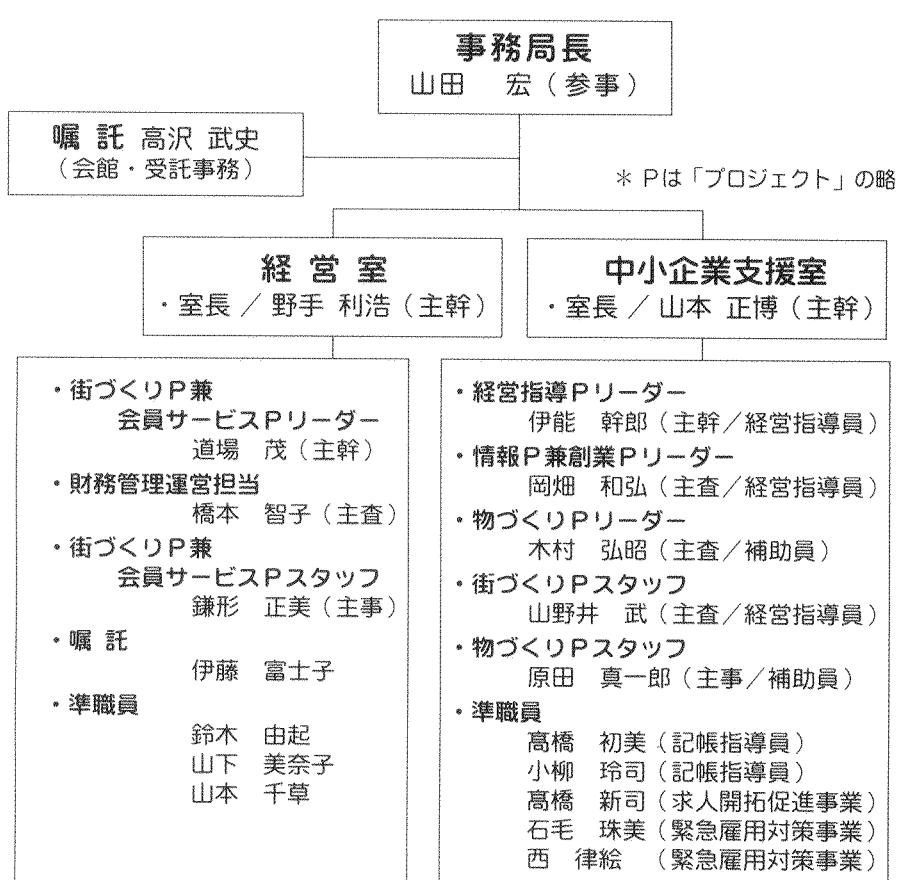
1. 商工会議所会館の建設／産業振興の拠点づくり
(平成14年10月着工、平成15年3月竣工予定)
2. 構造改革及び執行体制の強化／事業・財政の抜本的見直し
新たな体制でスタートした部会及び委員会活動を中心に、会員の主体的参加による事業運営を実現します。
3. 経営支援・指導体制の強化／不況への挑戦
中小企業が有する多様な経営課題に対して、県等との連携で専門相談員（エキスパートバンク）の派遣によるきめ細かな支援を行います。
4. 地域産業雇用対策／労働需給ミスマッチ解消への取り組み
国の地域産業雇用対策プログラム導入により、地域の実状に合った求職者支援を行い、労働需給ミスマッチの解消と雇用の創出・安定に努めます。
5. 店舗街振興体制・物づくり基盤の強化／地域活性化支援
21世紀の活力創造を目標に、産学官民協同で取り組んできたアクションプログラムの優先的執行を行います。
6. 環境対策／環境社会への対応、循環型社会への試行
環境社会への対応、循環型社会への新たな試行を産学官民の協働により行います。
7. 情報基盤の強化／企業の情報化支援
企業・地域間における情報デバイスをもたらさぬよう、会館に常設のIT教育施設を整備するなど、産学官民と一緒に情報化を支援します。

習志野商工会議所機構図（主な機能）

会員／市民（フォーラム）



事務局組織図・職員配置図



～平成14年度 習志

機動的組

画する機会だからです。そのために部会の意見を最重要視した仕組みづくりが必要との認識で、昨年11月の部会の統合を皮切りに行いました。他の業種の会員と意志疎通が可能となることです。ほか、全会議・事業の体系化や年間のスケジュール管理、戦術委員会への大学・専門家の参加、事務局の再編など、運営全体の方針を改め、事業の効果的執行環境を整えました。地域の期待に迅速に応えられる組織に変わりました。（紙面の都合で、以下は表でご案内します）

★事務局のスリム化

役員のリーダーシップを基盤に、日々の事業を遂行する事務局の存在は、商工会議所活動の一つの要であり、事務局を強化することが、今後の商工会議所活動を考えるうえでの大きな課題でした。

計画立案・事業執行の流れ

